

平成27年第11回花巻市教育委員会議（定例会）議事録

1. 開催日時

開会 平成27年9月30日（水） 午前10時00分

閉会 平成27年9月30日（水） 午前11時02分

2. 開催場所

石鳥谷総合支所 3-2、3-3会議室

3. 出席委員（4名）

委員 照井 善耕（委員長）

委員 中村 弘樹

委員 役重 眞喜子

委員 伊藤 明子

委員 佐藤 勝（教育長）

4. 説明のため出席した職員

教育部長 市村 律

教育企画課長 岩間 裕子

小中学校課長 菅野 広紀

こども課長 小田中 清子

文化財課長 千葉 達哉

5. 書記

教育企画課 課長補佐 鈴木和志 主任主査兼係長 幅下崇則

上席主任 佐々木晶子（書記）

○照井善耕委員長 只今から、平成27年度第11回花巻市教育委員会議定例会を開会いたします。会議の日時、平成27年9月30日、午前10時、会議の場所、石鳥谷総合支所3-2、3-3会議室。日程第1、会期の決定であります。本日一日とすることにご異議ありませんか。異議なしと認め、本日一日と決定いたします。日程第2、報告事項に入ります。平成27年第3回9月花巻市議会定例会教育委員会関係事項について。市村教育部長。

○市村律教育部長 平成27年第3回花巻市議会定例会教育関係事項についてご報告いたします。一般質問につきましては登壇した議員11名中6名の議員から以下の項目について質問がございました。藤原伸議員から学校でのいじめ問題と複合施設計画についてお尋ねがありました。1点目の「学校いじめ防止基本方針」については、学校への調査結果よ

り各校の計画に沿って実施されているという評価をいただいています。2点目の生活記録ノートの導入状況については、小学校では10校、中学校では全ての学校で取り組んでいる状況でありまして、生活記録ノートを活用していない、残りの小学校9校においても家庭学習ノートや連絡帳などによって児童の状況を把握しているということでございます。3点目が花巻市いじめ防止等のための基本的な方針におけるいじめの定義については、いじめ防止対策推進法第2条に規定しているものと同じ内容で定義していることと、それから、「ちょっかい」や「からかい」など軽微と思われるものについても、いじめの一つの態様と捉えて軽視することなく被害者側に寄り添った対応が必要になると認識していることとでございます。4点目、いじめ防止等のための専門的な人材の活用については、スクールカウンセラーを小学校8校と中学校の全ての学校に各1名配置して、残る11校につきましては中学校配置のスクールカウンセラーを中学校区内の小学校からの要請に応じて派遣しております。スクールソーシャルワーカーは本市では生活支援員という形で配置していますが、中学校5校に各1名と教育委員会小中学校課に1名配置して関係者が情報を共有しながら、連携して問題の解決に取り組んでいます。また、生徒指導全般については、小中学校課に配置している指導主事4名、それから風の子ひろばに配置している教育相談員5名も対応するなど、学校と連携しながら取り組んでおります。スクールカウンセラー、生徒支援員の関係につきましましては10月を目途といたしまして前半期の点検評価を行って、各学校の意見もお聞きしながら指導体制について検討しているという答弁になってございます。次に、複合施設計画の見直しに伴う子供関連施設計画の見直しによるその後の進捗状況についてですが、その中で矢沢のこども発達支援センターについては、建て替えの方向で協議を重ねているところでありまして、今後さらに利用している保護者の方や地域の方からもご意見を伺いながら基本方針を定めまして、来年度には実施設計、平成29年度の建て替え整備に向けて取り組んで参ります。こどもセンター、風の子ひろばについても、利用している方の意見で、今の場所での要望がございまして、こどもセンターを子どもに関する総合相談機能の中心として位置付けまして、今年度、プランに基づきまして子育て支援団体のネットワークの立ち上げ等を実施いたしまして、子育て支援活動の充実も図っているところとございます。それ以外の施設の機能につきましましてはスペースの拡充が必要となりますので、今入っております生涯学園都市会館本体の整備に併せて、今後、生涯学習部と連携しながら継続していく形になってございます。藤井英子議員から公立保育園の再編指針についてのご質問でございます。1点目は具体的な選定基準についての質問ですが、公募に応募できる法人の要件としては、花巻市内で、現に保育園または幼稚園の3年以上良好な運営実績を有する社会福祉法人、あるいは学校法人という方向で検討しているということと前段に触れたうえで、来年度予定している公募の選定基準につきましましては、例えば、応募法人の経営内容や保育内容に関する事項、職員や保護者への対応に関する事項などを盛り込んでいくことを想定していますが、現時点では具体的にお示しする段階ではないということとあります。2点目、運営法人には市外の法人も対象となるのかということですが、市外の法人につきましましては対象と考えていないということとございます。もう一つの項目で、若葉町にあります花巻防空監視硝聴音壕跡の保存についてありますが、まず、文化財指定につきましましては、所有者の方の承諾が必要となるのですが、

それがまだ得られていないという状況から、現段階で文化財として指定するのは難しいというのがございます。また、取得するにしても市内の中でも良いような住宅地にあることから相当なお金がかかります。また、公園化というお話もありますけれども、近所には若葉町東公園や若葉公園があるので公園の必要性が認められないということでございます。市内には優先度の高い保存しなければならない花巻城関係、武家屋敷などもありますので、こちらについては、現時点では優先度は高くないと答えているところでございます。引き続き、地域の皆様方にも活用方法を検討していただきながらということで課題として捉えているところでございます。照井省三議員から花巻東高校、富士大学との連携についての質問がありましたが、小中学校との交流について教育委員会からお答えしました。花巻東高校については部活動あるいは小体連の水泳指導者講習会において多大なご協力をいただいていること、富士大学については、地元の南城中学校との交流が盛んに行われているということをまず触れさせていただきました。今後におきましては「花巻市と学校法人富士大学の相互友好協力協定」に基づいて、本市と富士大学との間で、年1回協議を設けて、今年度富士大学が設置する予定の「富士大学地域連携推進連絡協議会」に、市が構成員として参加して、課題解決に取り組むということですが、こちらの部分の主体が総合政策部になりますので、教育部も加わることはあると思いますが、総合政策部中心になると考えているところでございます。菅原ゆかり議員からご質問のありました子育て支援について、1点目は病後児保育施設を1カ所確保したいとあるけれども病児保育施設について確保する考えはないかというご質問がありました。まず、病後児保育については現在医師会にお願いをしているところでありますが、もう一方で総合花巻病院の移転計画でも認可保育所と併せて病後児保育の実施について検討をお願いしている状況でありますので、病児保育については病後児保育実施後の対応ということで現時点では考えているところでございます。2点目は、ことばの教室に通う小学生の現状と課題ですけれども、現状といたしましては5つの小学校を拠点校として6つのことばの教室を設置、6名の専任教員が通級指導により指導を行っているところであります。現在70名の児童が指導を受けておりますけれども、そのうち27名がことばの教室設置校以外から通級指導を受けておまして、課題につきましては親御さんの就業の関係で送迎が不可能であるため通級を希望しないという実態がございますし、保護者の方の送迎が負担になるというのが事実として捉えております。特別支援教育の関係は体制の充実は重要なことですので今後実態を精査しながら保護者の方、校長会のご意見も聞きながら検討して参りたいという内容です。藤井幸介議員からの1点目の質問は、公職選挙法改正による年齢引き下げに伴う小中学校における主権者教育の取り組みについてでございました。現在の小中学校での学習指導要領に基づいて社会科の授業の中で主権者を育てる学習が行われております。教科以外でも例えば小学校の児童会あるいは中学校の生徒会活動で執行部の役員を選出したり、あるいは総会などによって活動方針、活動内容を決定したりして児童生徒主体による自主的な活動が行われていることもございます。中学校と高等学校の関連を重視しながら多面的・多角的に社会をみるための討論を取り入れた授業の工夫や、あるいは選挙管理委員会からの外部講師による出前事業などで選挙への関心を高めて主権者としての意識を深める手立てについて研究して参りたいということでございます。2点目にごみの減量化に関わる内容で、学校給食

の残渣の状況について質問がありましたので、過去3年間の数字をお示ししながらお答えしたところであります。照井明子議員からは、子ども・子育て支援新制度と公立保育園再編指針についてご質問がございました。1点目が待機児童の解消についてでありますけれども、育児休暇中、求職中の入所要件が緩和されたことによりまして、毎月の入所申請が30～40件ある状況でして、9月1日現在、38名の待機児童が発生している状況です。他に発生の原因として保育士不足がありますけれども、これについては様々な方法で確保に努めて参ります。2点目が、多様な体系の保育所の情報を保護者に公開、説明しているかというお尋ねでありまして、保護者の皆様がそれぞれの施設の特性について分かるような、市内の園の紹介も含めて、子育て情報をまとめた子育てガイドブックを現在作成中であります。入所申請の受付が開始される12月の前には配布して参りたいと思っておりますし、窓口にも常備しながら対応して参りたいと思っております。3点目が地域型保育事業の連携施設について、小規模の保育所が開設されましたけれども未満児までの施設ですので、3歳児以上の受け入れ先に繋ぐ連携施設を定めなければならない状況です。現在2カ所との連携を進めているところでありますが、まだ、協議中という状況になっております。市としても計画期間内で連携先が決まりますようにサポートをして参ります。4点目が年少扶養控除と特定扶養控除の廃止の影響で保育料が引き上げとなる件数と保育料が引き上げとならないような措置が必要ではないかのお尋ねでありました。平成27年度当初の継続入所児童1,712人のうち年少扶養控除廃止の影響を受け保育料が上がったとされるのは59人、下がったとされるのは289人です。市といたしましては上がった方の多子世帯の第3子以降の児童について、今年度から2分の1の補助がありますので、そういう形で保育料の負担軽減を図っていくという考えを示しております。5点目が延長保育料の設定についてですが、繰り返し利用すると逆に短時間保育ではなく標準保育にした方が安くなるという実態がございますので、繰り返し利用される場合は短時間保育認定から標準保育時間への認定替えをして軽減を図るようにしている状況でございます。6点目が実費・上乗せ徴収による経済的負担軽減の補足給付事業についての対応ですけれども、上乗せ徴収については市内の保育園では無いのですが、実費徴収についてはあるという状況がございますので、実態について早急に調査を行い対応して参りたいという考えでございます。7点目が育児休業中の入所についての対応ですけれども、市としてはこれまでも引き続き受け入れてほしいという意見があったり、近隣市町村でも実施しているという状況を踏まえまして、待機児童が発生して満杯であるところは無理ですけれども、園で受け入れが可能であればという前提ですけれども、今は1年としているところを、引き続き1年を超えても受け入れができるような形で10月から対応して参ります。次に、民営化の形態について、議員から話があったような形ではなく、市内で実績のある社会福祉法人、学校法人ということで考えていますので、株式会社への譲渡というのは今回の民営化では考えていないとお話しました。最後に、地域の過疎化の関わりから保育園統合を避けるべきではないかというご質問がありましたけれども、地域において必要な保育の確保を大前提としながら、本年度設置いたしました、保育教育環境検討会議、保護者、地域の方々のご意見を伺いながら対応して参るという回答をいたしました。一般質問は以上です。次に、議案審議についてであります。1点目が、湯口中学校校舎棟改築工事の建築部分の請負契約

について、相手方、契約金額はこのとおりでありまして、共同企業体の入札でございます。完成期限は来年の9月30日。この議案についてまず、コンクリート不足への対応につきましては、基本設計、実施設計の段階で設計業者から情報収集しながら、鉄筋でも内陸で建てられるということで進めまして、結果、予算の範囲内で契約できたという状況でございます。あとは、機械設備、電気設備の工事費についても教えてほしいということでございましたので回答いたしました。空調設備については、今までの学校と同じように職員室、保健室、必要な所にはパッケージエアコンを設置するがそれ以外はエアコンを設置しない。暖房はFF式で対応するとしたところでございます。2点目が平成27年度補正予算の関係で、歳入では寄付金がありました。歳出では富士大学の50周年記念事業、記念誌の発行に対する補助について大学側からもっと加算の要望はなかったかという質問がございました。要望を受け取って、協議、説明をする中で4分の1補助についてはご理解をいただいていると回答いたしました。その他、寄付をいただいたものを充てたものとして、奨学基金へ繰り出したもの、あるいは図書購入に充てたものがございます。その他に小学校教育振興費で臨時講師の額がありますけれども、これは帰国子女の生徒に1日2時間サポートする講師の予算を追加で計上したものであります。3点目、平成26年度一般会計の決算ですけれども歳入で質問がありましたのは分担金・負担金の保育料の部分です。未納の状況がどうなっているか、滞納している方との関わりとか未納者対策がどうなっているかということです。未納者対策については児童手当の給付の時に相談会という形で納付を促す形で対応していること。あとは納めている方と納めない方の公正公平の関係から職員も汗をかいて対応しているという話をしました。歳出では、児童福祉運営措置費の保育委託事業費について石鳥谷地域の法人立での保育園の定員を子供の実数に近い形で下げられないかという話もありましたけれども、待機児童が発生している状況ですので余裕のある園ですと、先ほどお話しした1年を超えても継続して預けられることもございますので、直ちに定員を下げるのではなくて、誘導策を取りながら対応して参りたいというお話をしたところでありまして。次に、児童福祉施設費の一般行政経費の保育士確保の取り組みについてですが、養成学校への訪問とか掘り起しという形で引き続き対応して参るということをお話ししました。もう一つ、はなまきファミリーサポートセンター事業についての質問では、この事業の特徴と今後の課題についてということで、課題としては先ほど出ましたけれども病後児の対応、預かり会員の方に対する研修の充実が今後の課題であるという答弁をしたところでありまして。次に、事務局費の奨学金制度の拡充についてですが、基金が条例の額をオーバーしているという現状があります。貸付額と償還額の差で若干償還額が多いという状況にありますけれども、いずれ資金が枯渇するという状況が無いようにしつつも何か使える方法はないかということで、まちづくりの為にも、地元子ども達が残るためにも使えないかということで検討しているという状況をお伝えしたところでございます。次に、教育研究費の一般行政経費（指導運営）ではスマホ等の情報関係の対策についての質問がございましたので取り組みの内容について回答したところでありまして。もうひとつは、いじめ防止の関係の対策について、6月1日をいじめ防止の日とした理由について、改めて議員からご質問があったところございましたので、年度初めの学校行事が一段落した6月1日という日をいじめ防止を考える日として設定して今年度から取り

組んでいるという回答をしたところでございます。また、特別支援事業費について、ふれあい共育推進員を市で増員して置いているのですが、これは国や県の責任で配置すべきではないかという、機会を捉えて要望すべきではないかという主旨のご質問があったところでございます。最後のニコニコ元気っ子事業について、公立園を中心に体力向上のために平成26年度から始めた事業なのですが、法人立保育園の参加状況についてどうかというご質問がありまして、今でも各園で独自に取り組んでいるとお答えをしたところでございます。市として体力向上を図るというのであればできるだけ法人立にも協力を求めるべきではないかという主旨のご質問でありました。次に、中学校教育振興費、一般行政経費（中学校教育運営）で、学校図書館の地域開放についてご質問がありまして、それについては熱心に関わりたいという地域もあるようですのでモデル選定を進めながら研究をするというお答えをしたというところでございます。以上が決算の内容でございます。最後に、報告案件でございますけれども、花巻幼稚園で非常勤の校務員が草刈り作業をしていたところ飛んだ石が駐車場の車に当たり、窓ガラスが破損した件の和解について報告をさせていただいたところでございます。以上、花巻市議会定例会教育委員会関係事項の報告になります。

○照井善耕委員長 ありがとうございます。只今報告いただいたことにつきましてご質問等ございましたらお願いします。役重委員。

○役重眞喜子委員 2点お聞きしたいのですが、一般質問の藤原伸議員の都市機能増進を図る施設整備計画の関係で、子供関連施設以外も含めて総合的な、図書館とか厚生病院の跡地の関係とかも含めて質問と答弁があったのであれば、全体の内容をお聞きできればと思います。もう1点は生涯学習、社会教育の関係で28年度から29年度に向けてコミュニティ会議の記者会見では方針もお示ししているということで、それに関して地域の意見や不安といったものがあると思いますので、そのあたりの議論がなかったかというところを教えていただければと思います。

○照井善耕委員長 それでは2点についてお願いします。

○市村律教育部長 病院についてはまもなく花巻病院で組織を立ち上げ、色んな関係機関が入るといった話があるようですが、今のところ具体的にいつ立ち上がるというのはいません。そちらの方が優先的な課題となっております。図書館についてはその後となりますので、今は具体としてお示しするものはないというのが答弁になりました。

○佐藤勝教育長 生涯学習部でも何もやっていないというのではなく、どうするかということで作業はしているようです。基本は前のような大きいものじゃなくて、今は、分散型で、しかも連携型であって使いやすい場所というのは必要だろうし、どういうふうな機能を持たせるか洗い直しをしているという状況です。あと社会教育がコミュニティに移行しているという。やはり中心的なものは生涯学園都市構想の中で連携しながらやっていくと

ということだと思っておりますけれども、特にこれについての議論はされませんでした。

○照井善耕委員長 他にありますでしょうか。中村委員。

○中村弘樹委員 公立保育園の民営化を進めているのはどういう意図なのでしょう。

○市村律教育部長 今後、子ども達が少なくなっていくのは現実の問題としてあります。今は待機児童が発生していますけれども29年以降になると子供自体が少なくなってきました。子どもが少なくなってくる中で公立が一定の数あると、法人立の経営が厳しくなることもあるので、園は法人立で担っていただいて、その分公の方を縮小していく。公立保育園のもう一つの課題ですが、正規職員の割合が半分となっており臨時保育士に担任をお願いしなければいけない状況があります。法人立に今の公立保育園を受けていただくことで、公立の保育士を残った園に集約して正規の職員の割合を高めることができるということもございます。議会からも臨時の割合が高すぎると指摘されておりまして、それは他の市にはない状況です。結局、前の民営化の計画が平成19年ぐらいからあって、しばらく採用を止めていた時期があったのですが、その間に民営化は進まないけど、職員はどんどん退職していくので正規の職員が少なくなると、臨時保育士で補っているという実態があります。民間に担っていただく所は民間に担っていただいて、公立では職員を再配置しながら経営を継続していく。あとは、民間の方が機動性が高く、保育所が様々な対応のときに動きやすいだろうというのがあります。特別保育も法人立が色々なサービスで対応していただいているという状況です。

○照井善耕委員長 他にございませんでしょうか。いじめの問題の答弁の中で、花巻市いじめ防止のための基本的な方針におけるいじめの定義についての、「ちょっかいやからかいなど軽微と思われるものも、相手の心を深く傷つけ、心理的な影響を与える場合があることから、いじめの一つの態様ととらえ、軽視することなく、被害者側に寄り添った対応が必要になる」とありますけれども、ここの部分はすごく大事なことじゃないかな。ちょっとした「ちょっかひ」とかで本人自身も気づかないくらいのことがストレスになって積み重なっている。ちょっとしたことでする側では心の中でどんなことが起きているのか、逆にされる側はどうか。子どもとのやり取り、あるいは職員間で連携していく時の取り組みのきっかけとしていい部分じゃないかなと思います。校長方とか生徒指導の関係で協議していくわけですが、実際に校長や先生方から困ったことや発見など具体的な話は出ていませんでしょうか。菅野小中学校課長。

○菅野広紀小中学校課長 色々な情報が生徒指導主事に集まり、副校長に集まってくるわけなのですが、組織として対応すべきものなのか、そこまではいかないことなのかということでもその見分けが非常に難しい状況にあると聞いています。学年会とか生徒指導とか話し合いが増えてきていて、どっちなのかということでもその都度集まっている状況です。いじめについては保護者や地域の方々も関心も高まっていて、先生方もアンテナを高くし

て対応しているところで、これからの課題としてはそれをどのように組織として対応していくのかということです。職員間の情報共有ということが、以前にも増して非常に大切になってくる部分だと思いますが、今までより職員室内でのやり取りが頻繁にされるようになり、それに対応することが今望まれている状況ですが、その移行期ということで先生方にとっては少し戸惑いがあるのかなと感じています。

○照井善耕委員長 私達が子ども達と普段接して、避けなければいけないのは子どもが今、目の前にいるのにこっちで突然と会議をやったり、気持ちを削いだところで何かやっても変に別の方向へ行ってしまうんじゃないかと思うんですね。だから、いじめの判断は置いて、本当にちょっとした段階の時に、そこに関わった人間で嫌な思いをしている子はいないかなとか、無意識の内に嫌な思いをさせる行為はないかなとか、そういう見方をしながら声をかける。あまり仰々しいことよりも、こういう辺りがすごく取り組みやすい部分ではないかなと答弁を聞きながら思いました。深刻になるまでは本人もいじめているとか嫌な思いをさせているとか思わないでやっていることなので。他にないですか。なければこの報告については終わりにしたいと思います。それでは、次の報告事項についてお願いいたします。菅野小中学校課長。

○菅野広紀小中学校課長 第57回花巻市中学校駅伝競走大会の結果についてであります。順位が1位から7位までの学校が県大会に出場することとなっております。岩手県の駅伝競走大会は今週の金曜日、日居城野運動公園のコースで行われます。中学校11校中9校が出場する予定であります。今回、優勝は男子が石鳥谷中学校、女子が西南中学校ということです。男女とも頑張っている学校が出てきているという印象を持っています。以上簡単であります。駅伝大会についてであります。続けて、第48回花巻市中学校陸上競技大会の結果です。先程報告しました駅伝競走大会は9月3日に行われましたが、その2日後ということで、疲れがたまっている生徒もいたかもしれませんが、新記録が続出した大会でありました。今年は12種目の新記録がありました。例年より陸上競技会が10日ぐらい遅い開催になっておりまして、大会の関係者の声とすると、気候的な条件もあり、各学校の指導が充実していたのではないかという話をしておりまして。石鳥谷中学校の生徒の新記録が多くでましたけれども、そのほか花巻中、西南中、宮野目中など新記録の生徒が各校から出てきている状況です。総合的な得点からすると、男子は石鳥谷中学校が総合1位、女子については花巻中学校が1位となりますが、今年は石鳥谷、花巻、西南とこの3校が男女とも3位以内に入っており、かなりバランスよく指導されているのではないかなという感じはしてございました。最後に、花巻市中学校新人大会の結果一覧であります。9月19日、20日の2日間に渡って行われましたけれども、今回は色々な種目で今までとは、1位の学校をみると様々な変化がみられました。今まで勝ってきたことのない新しいチームも優勝しておりまして、広く、子ども達の特性を踏まえながら各学校で指導されてきたなど。ある学校に集中ということではなくて市内色々な中学校が各種目で力を発揮しているのではないかなという感じを受けました。私も2日間に渡って、総合体育館を中心に参加させていただきましたが、選手のマナーとか保護者の応援、など爽やかな大会であ

りまして、勝ったチーム、負けて涙を流したチームありましたけれども、中学校2年生の子ども達にとってはどちらもいい経験になっているなど感じたい大会でありました。子ども達が来年の春まで頑張っどどのような変化をしていくのか楽しみに思っています。以上です。

○照井善耕委員長 ありがとうございます。まとめて報告していただきましたことについて何かございますでしょうか。

○佐藤勝教育長 ちなみに昨日は小学校の陸上記録会がありまして、コンディションが良すぎて、追い風で、参考記録になりましたが、いい記録がでました。残念ながら追い風参考でかわいそうでした。あの子達が中学校に入ればまた記録は変わると思います。

○役重眞喜子委員 なぜ石鳥谷中学校はこんなに強いのでしょうか。

○中村弘樹委員 陸上の先生が良かったんです。いろんな学校に行って伸びている。

○照井善耕委員長 この機会に基本的な指導の仕方を皆で学ばいいんだよね、学校間で勝ったとか負けたとかじゃなくて。そうしないと全体的に上がっていかない。私も新人戦とか見るのだけど、指導者が前と比べて変化してきているのかなと思って見ていました。最近では指導者も生徒と一緒にやりとりして、子ども達も自分の良さに気が付いていいところを伸ばしているのではないかと。

○佐藤勝教育長 陸上に限って言うと、前はそれぞれの学校あるいは体育の先生ごとみたいな雰囲気だったんですね。それが今は小学校についても陸上についてはきちっとしたトレーニングがされるようになってきました。それから小体連から中体連への連携が非常に良いです。市中陸上の前は競技場で休み中もトレーニングしているんですね。だから切磋琢磨しながらやっていることの成果だと思います。ただ、まだ陸上は盛岡にはかなわないです。目標は盛岡。他の競技もだんだんそういう風になってくると思うんです。学校毎の部活というよりも合同で交流したり、いい先生を迎えて勉強会をしたり、そうやっていかないと育たないと思う。全ては東高校の野球部のやり方があって、高校野球を見ても、中学校の野球を見ても気運が高まってきている。

○役重眞喜子委員 宮野目のインフルエンザはどうなっていますか。インフルエンザが蔓延していると。

○菅野広紀小中学校課長 学級閉鎖の報告は受けていません。

○伊藤明子委員 老健施設では流行ったらしいですよ。

○照井善耕委員長 報告については以上で終わりにします。その他にありますか。岩間教育企画課長。

○岩間裕子教育企画課長 会議資料には掲載されておられませんけれども、先の会議において人事案件について報告事項がございますので、教育委員会会議規則第13条の規定により秘密会での報告とさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

○照井善耕委員長 只今事務局より申し出がありましたけれども、お諮りいたします。会議規則第13条の規定による秘密会での報告としたいと存じます。これにご異議ございませんか。ご異議ありませんので秘密会による報告事項とすることに決しました。ここで暫時休憩いたします。

○照井善耕委員長 休憩中の会議を再開いたします。(秘密会のため非公開)

○照井善耕委員長 以上で、本日の議事日程は全て終了しました。本日の教育委員会会議はこれを以て閉会といたします。